

平成20年度学校経営計画に対する中間評価報告

重点目標	具体的取組	主担当	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析(成果と課題)および後期の扱い(改善策等)
<p>「勉学を第一義とする」をふまえ、高い学力を身につけ進路志望の実現を図る。</p> <p>・1時間の授業の大切さを意識し、意欲的に取り組む。</p>	<p>校内研究授業・研究協議会を充実させるとともに年間20日間の教員同士の授業参観期間を設けて、教員がお互いの授業を見せ合い、研鑽する機会を増やす。また、生徒による授業評価を授業改善に活用する。</p>	教務課	<p>【成果指標】 全員が他の教員の授業を年6回以上参観し、授業改善に生かす。</p>	<p>年6回以上参観した教師の割合が</p> <p>A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満</p>	<p>前期の授業参観期間で3回以上参観した教師は67人中59人で88%となっている。</p>	<p>前期の教員同士の授業参観期間で、参観授業数は全体平均で自教科2.0、他教科1.7で合計3.7回となっており、ほとんどの教員が年間6回以上参観できる方向にある。後期においては参観期間を前期の10日間から15日間にのばし、さらに積極的に授業参観を行い、授業改善に活用していきたい。</p>
	<p>進路意識の向上と、高い進路志望を継続できるよう、難関大入試分析と、東大・京大の生徒向け入試問題説明会をおこなう。</p>	進路指導課	<p>【成果指標】 難関10大学、国公立大学医学科の合格者数及び東大・京大の合格者が増加する</p>	<p>難関10大学・国公立医学部及び東大・京大の合格者が</p> <p>A 120名以上(東大・京大合格者が30人以上) B 100名以上(東大・京大合格者が25人以上) C 80名以上(東大・京大合格者が20人以上) D 80名未満(東大・京大合格者が15人以上)</p>	<p>年度末に集計</p>	<p>6月に東大と京大の入試問題説明会を実施し、その後2次力強化にむけて今後の添削指導等の方針を示した。 東大・京大模試を含め難関大向けの外部模試を7,8月に実施し、延べ200名が受験した。なお、10月下旬から11月にも実施の予定である。 7月・9月に志望校検討会を実施し、個々の生徒に対する指導・助言などの共通理解を図った。</p>
	<p>ホーム担任および学年主任は、全国規模の校外模試を具体的な目標点を設定した上で受験するよう、全生徒に対し、年間5回以上の個別面接指導を実施する。</p>	学年	<p>【満足度指標】 学年団の指導により、学力・学習姿勢が向上した。</p>	<p>学年団の指導が、自分の学力や学習姿勢の向上に役立ったと考える生徒の割合が、</p> <p>A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満</p>	<p>1年 94% 2年 93% 3年 96%</p> <p>(9月実施の生徒アンケート結果)</p>	<p>1年 タイミングを外さずに、生徒との面談を実施することができた。 現在は、将来の進路を見通した文理選択を行うための面談を実施している。 2年 面談週間を設定し、集中的に生徒と面談を実施することができた。 現在、国数英の朝学習を通して基礎基本の徹底を図っている。 3年 第一志望合格実現を目指し、ねばり強い学習に取り組むよう日頃より個人面談を通じて指導している。</p>
	<p>外部講師を招聘したり、大学等を訪問したりして、生徒の進路選択の支援をする。</p>	SSH推進室	<p>【満足度指標】 英語によるコミュニケーション能力が身についた。</p>	<p>英語によるコミュニケーション能力が身についたかの自己評価を行い、身についたと答える生徒が</p> <p>A 90%以上 B 70%以上90%未満 C 50%以上70%未満 D 50%未満</p>	<p>2月実施予定の生徒アンケートで評価する。</p>	<p>前期は9名の講師を招き、講演していただいた。7月にはプリンストン大学学生に対して、2年理数科の生徒が課題研究の中間発表を英語で行った。8月のマンチェスター大学研修では2年生の1グループがコンピュータの暗号について発表した。 後期はコスモサイエンス、つくばサイエンスツアー等で大学、研究施設を訪問する予定である。12月に実施するSSH研究発表会において、英語によるポスターセッションを計画している。</p>

重点目標	具体的取組	主担当	評価の 観点	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析（成果と課題）および後期の扱い（改善策等）
<p>「品位を高め他の人格を重んずる」ことをふまえ、よりよき集団づくりをめざし、絶えず自己研鑽に努める生徒を育てる。</p> <p>・あいさつの励行、体力の向上、成果ある部活動と充実した創立記念祭の取組。</p>	挨拶をきちんと行い、円滑な人間関係が作れるようにする。	生徒指導課	【成果指標】 多くの生徒が、しっかりと挨拶ができる。	挨拶・会釈に関して自分自身がしっかりと挨拶をしていると答えた生徒が A 80%以上いる。 B 70%以上いる。 C 60%以上いる。 D 60%未満である。	1年 90% 2年 89% 3年 90% (9月実施の生徒アンケート結果)	3学年合計すると、「よくあてはまる」と答えた生徒が36%、「あてはまる」と答えた生徒が53%であり、全体として挨拶・会釈の状況は改善されている。今後は、さらに大きな声で元気な挨拶が出来る様に指導して行き、「よくあてはまる」と答える生徒の割合を高めていきたい。
	学校教育振興ビジョンなどを活用して、部活動の活性化、競技力の向上を図る。	生徒指導課	【成果指標】 総体の総合順位を上げるため全校あげて取り組む。	総体総合順位が A 3位以上 B 6位以上 C 10位以上 D 11位以下	男子 10位 女子 16位 総合 8位	全体的に頑張りを見せているが、上位（優勝や準優勝）がなく、全国大会の出場を果たすことができていない。次年度にむけて部活動の活性化に向けた取り組みをより強化したい。
	授業を通じて健康の保持増進、体力向上の大切さを理解させ、生徒自ら研鑽に努める態度を育成する。	生徒指導課 保健体育科	【成果指標】 持久力が向上した。	持久走記録が春（4・5月）より秋（10・11月）に向上した生徒の割合が A 80%以上 B 60%以上 C 40%以上 D 40%未満	春（4・5月）に持久走を実施した。秋は11月下旬に実施する予定。	前期授業は陸上競技がほとんどで、運動量も非常に多く、かなり体力的につらい授業であったが、前期授業評価では、授業が充実していたと答える生徒が多かった（91.3%）。このことから体力向上の大切さを理解し、積極的に授業に取り組んでいたと考えられ、体力向上を実践する態度が身に付いてきたと思われる。
	遠足・記念祭・スポーツ大会等の学校行事を通してクラスのまとまりを高め、生徒の自主性・主体性・協調性を育てる。	学年	【満足度指標】 創立記念祭を始めとする学校行事にホーム一丸となって取り組むことで意欲的・主体的に行動する。	「創立記念祭を始めとする学校行事にホーム一丸となって取り組むことができ満足している」の割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	1年 86% 2年 91% 3年 95% (9月実施の生徒アンケート結果)	1年 記念祭の催事で個性をぶつけ合い協力することで、互いの存在を尊重し合うようになり、クラスのよりよい人間関係が生まれた。 2年 記念祭の模擬店運営を通して、クラスの団結がより強固となり、「だんどり」を図ることの重要性を認識できた。 3年 遠足、校内陸上競技大会、記念祭とクラス行事は大いに盛り上がりを見せ、例年以上にクラスのまとまりが強いように見受けられる。
	問題を抱える生徒の早期発見に努め、学校生活がスムーズに行えるように、教師間の連携を密にして支援していく。	教育相談室	【努力指標】 年間4回の相談室連絡会を開催し、学年や保健室との連携を図り、問題点の早期発見に努める。	相談室連絡会を中心として、担任・学年・保健室・相談室等が連携し、情報の共有化を図り、生徒個人の問題点を迅速に把握し、よりよい支援の態勢を築くことが A よくできた。 B ほぼできた。 C あまりできなかった。 D まったくできなかった。	6月・10月に相談室連絡会を実施。	ホーム担任・保護者との連携のもと、不登校気味の生徒の早期発見に努め、的確な処置をとることができた。 後期における改善策としては、相談室の有効活用を更に高めるべく、各学年の生徒の動向に留意し、より積極的なアピールに鋭意努力していきたい。

重点目標	具体的取組	主担当	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析(成果と課題)および後期の扱い(改善策等)
<p>3 「正義を愛し社会から信頼される」ことをふまえ、生徒とともに開かれた学校づくりに努める。</p> <p>・保護者懇談会、授業公開の機会拡大。地域社会と連携した生徒活動の推進。</p>	<p>PTA 総会・いしかわ教育ウィーク・各種講演会などの機会を通して、積極的に学校を公開し、参加する保護者・地域住民の増加をめざす。</p>	総務課	<p>【満足度指標】 開かれた学校づくりに積極的に取り組む。</p>	<p>保護者によるアンケートにおいて「学校は、開かれた学校づくりに積極的に取り組んでいる」と答えた割合が</p> <p>A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満</p>	<p>年度末の保護者アンケートで評価する。</p>	<p>前期に行った学校公開の事業の参加者は、総会 555 名、創立 60 周年記念講演会 91 名、体験入学(保護者引率者)125 名であった。 前年度と比較すると、体験入学(保護者・引率者)は 46 名の増であったが、PTA 総会は約 50 名減、保護者ガイダンスも 1 年・2 年合わせて約 20 名減であった。全体として、参加者は減少傾向である。 後期に行われる「いしかわ教育ウィーク」を HP 掲載したり、保護者・県内中学校へ案内するなど、積極的な広報活動を行う。</p>
	<p>「いしかわ教育ウィーク」を含んだ 2 週間程度と土曜スクール(12 日間)を授業公開とし、保護者に周知する。</p>	教務課	<p>【成果指標】 授業公開を実施し、授業参観した保護者の増加を図る。</p>	<p>授業公開を実施し、授業参観した保護者が年間</p> <p>A 1000 人以上 B 800 人以上 C 600 人以上 D 600 人未満</p>	<p>前期合計で 680 名。 (PTA 総会時の土曜スクール 555 名、体験入学 125 名)</p>	<p>前期で 680 名の保護者が授業参観をしており、後期に行われる「いしかわ教育ウィーク」においても多くの保護者が授業参観するように働きかける。</p>
	<p>ホームページの更新を定期的に行い、各種行事・部活動・SSHの様子や教育課程・進路などの情報を校外へ発信し、よりわかりやすく公開する。</p>	情報管理室	<p>【満足度指標】 保護者がホームページを通じて「学校の様子がわかる」という人数の増加を図る。</p>	<p>保護者による外部評価において、「学校のホームページにより、学校の様子がわかる」という項目のよくあてはまるとややあてはまるを合わせた割合が、</p> <p>A 85%以上である。 B 80%以上である。 C 75%以上である。 D 75%未満である。</p>	<p>年度末の保護者アンケートで評価する</p>	<p>ホームページにおいて、各課・室が公開する情報の掲載や更新を適切に行うことができた。また、実施された行事等の紹介が前期で 20 件あったが、そのうち行事終了後 1 日以内に 13 件が、5 日以内にはそのほとんどが掲載できた。後期も、本校の教育活動の様子や各種情報をタイムリーに発信して保護者の満足度を高めていきたい。</p>
	<p>ISO 活動「節電・紙の節約やリサイクル・ゴミの分別」を通して、環境保全意識の向上を図る。</p>	保健環境課	<p>【満足度指標】 生徒の「環境意識」を高め、「地域での活動」を積極的に取り組むように促す。</p>	<p>保健環境課アンケートでの生徒の「環境意識」・「地域での活動」に対する自己評価で、よくできた、まあまあできたの占める割合が</p> <p>A 80%以上 B 60%以上 C 40%以上 D 40%未満</p>	<p>リサイクル活動に対して、肯定的評価は全校で 65%であった。(9 月実施の生徒アンケート結果)</p>	<p>9 月実施のアンケートによれば、1 年は「よくできた」と答えた生徒が 67 名(19%)、「まあまあできた」と答えた生徒が 149 名(41%)であった。以下同様に、2 年は 68 名(19%)と 151 名(43%)、3 年は 83 名(24%)と 173 名(50%)であり、全体では 218 名(21%)と 473 名(44%)であった。学年進行につれて意識が高くなっている傾向がある。 後期は落ち着いて ISO だより等の広報活動を強め、生徒の積極的な参加を促したい。</p>
<p>生徒の保護者や学校評議員に生徒への推薦図書を紹介していただき、推薦図書案内「青春の一冊」に掲載することで、生徒の読書指導への協力を得る。</p>	図書課	<p>【成果指標】 保護者の協力をも求めながら、読書する生徒の拡大をめざす。</p>	<p>推薦図書案内「青春の一冊」に掲載された保護者数が、</p> <p>A 80 人以上 B 60~79 人 C 40~59 人 D 40 人未満</p>	<p>53 人</p>	<p>一昨年 38 人、昨年 58 人であったが、今年度は「青春の一冊」は 3 年目となり、卒業生の保護者は掲載しないことにしたため、予想以上に減少した。もう少し図書委員の保護者・PTA 理事に強く働きかけたい。</p>	